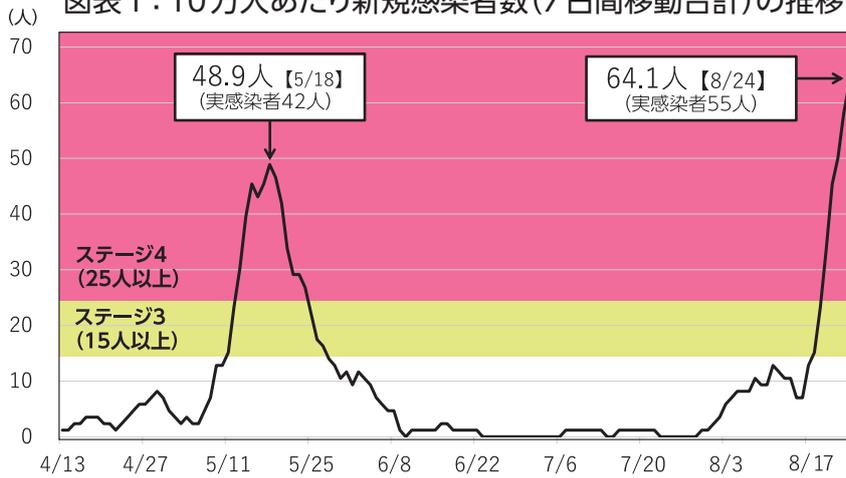


# 緊急事態宣言発令中(9月12日(日)まで)

## 市内では8月以降に感染が爆発 40代以下の感染が増加中

図表1: 10万人あたり新規感染者数(7日間移動合計)の推移



図表2: 新規感染者の年代別割合(7/30~8/24)

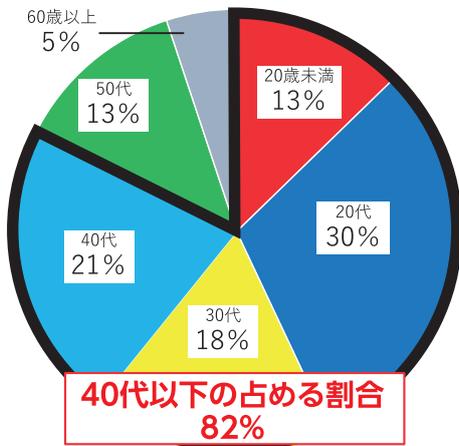


表1: 市のワクチン接種率(8/24現在)

	1回目接種	2回目接種
65歳以上	26,545人(93.4%)	26,467人(93.2%)
64歳以下	14,058人(28.4%)	9,197人(18.5%)
合計	40,603人(52.1%)	35,664人(45.8%)

↓

9月末(見込み)	53,000人(68.0%)	48,000人(61.6%)
----------	----------------	----------------

感染拡大を受けて、県に「緊急事態宣言」が発令されました。

市内でも感染者が急激に増え、「ステージ4」の非常に危機的な感染状況です(図表1)。

県内では「自宅療養者ゼロ」を目指していましたが、維持が困難な状況になりました。このまま増え続ければ、医療体制がぜい弱なこの飛驒地域では、救える命も救えなくなってしまう

感染力の強いデルタ株の拡大と、若い方の感染増加が最大の特徴であり、最近の新規感染者のうち8割超が40代以下になっています(図表2)。

一方で、9割超がワクチン接種を終えた高齢者は、感染が抑制されていることが分かります(図表2・表1)。

ワクチン接種と基本的な感染防止対策がこの危機を脱するために重要です。

### ◆県内感染者の行動歴から見る感染リスクの高い行動

#### 《事例》

- ▼ 実家に帰省し、親族や友人と会食
- ▼ 家族や友人と旅行や会食
- ▼ 友人と一緒に買い物。車中マスクなし
- ▼ 職場の休憩所でマスクなしの休憩

感染は人と接触することで発生します。基本的な感染防止対策(マスク着用、手指衛生、密の回避、細やかな健康管理)を徹底したうえで、接触機会を減らしましょう。